

# ロシア・ハバロフスク地方

## 位置

東はオホーツク海に面しており、沿海地方、ユダヤ自治州、アムール州、サハ共和国、マガダン州と接しており、間宮海峡（タタール海峡）を挟んでサハリン州にも近接している。南部は、約 900 キロメートルにわたり中国（黒竜江省）と国境を接している。  
鳥取県からの直線距離は、約 1,400 km と近接している。

## 人口

134 万人

## 面積

787,600km<sup>2</sup>

## 行政区画

2つの市と 17 の地区（29 町、188 村）から構成されている。

## 産業

航空機産業、造船業、石油精製、資源関連産業が地方経済を支えている。シベリア鉄道、幹線道路、港湾を有しており、極東における物流拠点のひとつとして長い歴史を誇っている。  
主要産業は、①運輸・通信、②卸売・小売、③建設、④不動産、⑤製造業、⑥農林業となっている（域内総生産額の高い順）。

## 主要観光地

ハバロフスクは、極東における行政・産業・物流の中心地として長い歴史を有しており、計画的に碁盤状に都市開発されてきたことから、清楚で上品な雰囲気醸し出している都市である。

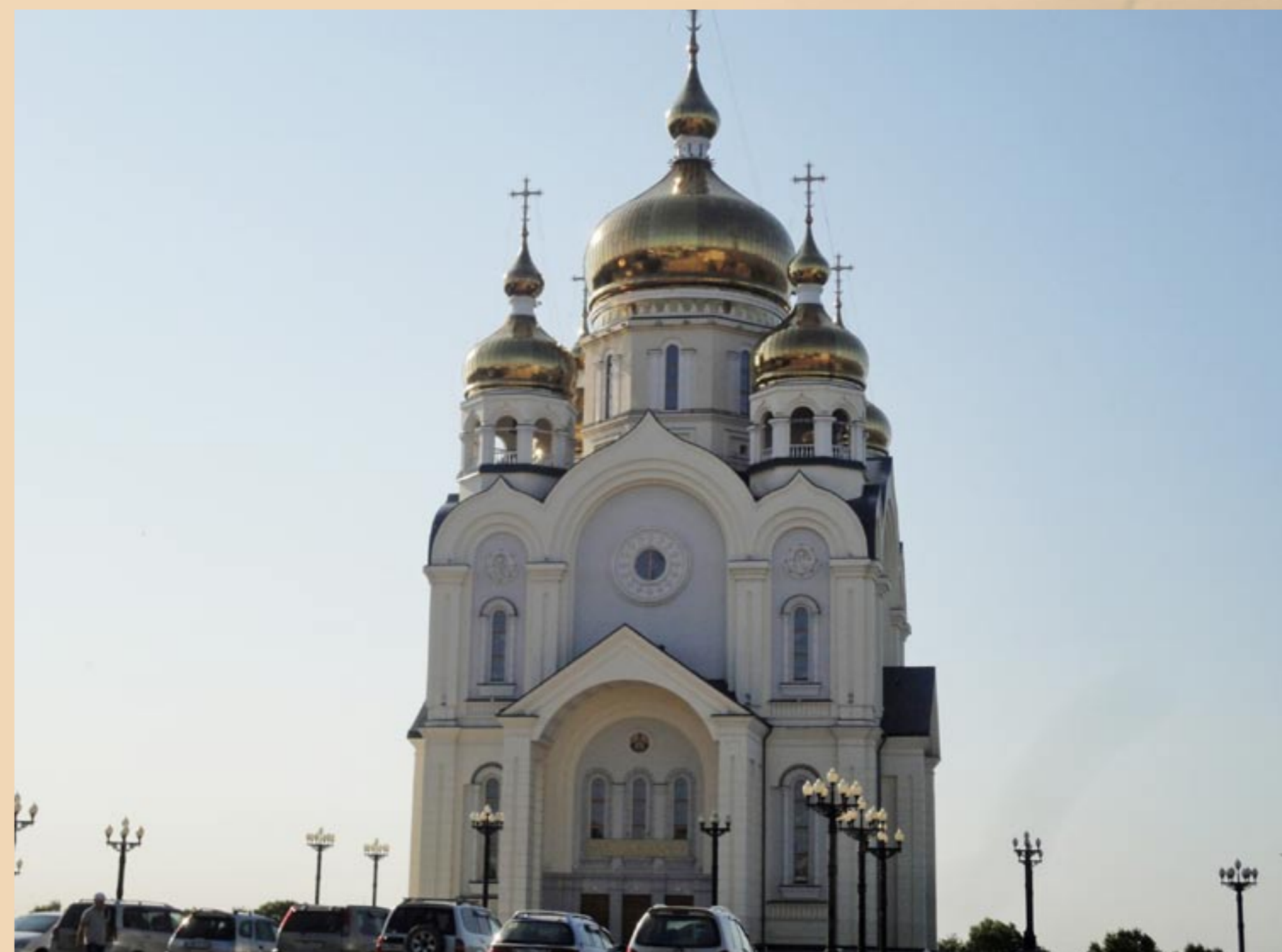
ウラジオストクからハバロフスクまで、シベリア鉄道で 12 時間（1 泊）、飛行機では約 1 時間で移動することができる。

### 【見所】

- ・ 並木道や花壇など自然と調和した西洋の街並み「市内中心部」
- ・ 極東で最大規模の教会「スパソ・プレオブラジェンスキー大聖堂」
- ・ 並木道をゆっくりと走る風情のある路面電車
- ・ 貴重なロシア絵画、イコン、彫刻などを収蔵展示する極東美術館
- ・ ロシアと中国との国境を隔てる広大なアムール川
- ・ チェブラーシカなどのキャラクター銅像が並ぶ遊歩道
- ・ レーニン広場を埋め尽くす大規模な氷の彫刻展（冬のみ）
- ・ 伝統的なロシア料理、アジア料理、欧州料理などのレストラン、オシャレなカフェやバーも多数



アムール川のほとり



スパソ・プレオブラジェンスキー大聖堂